

Makita

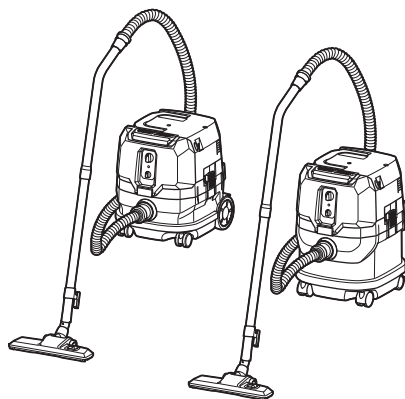
取扱説明書

充電式集じん機

モデル VC001G

モデル VC003G

(乾湿両用)



このたびは充電式集じん機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

主要機能	2
安全上のご注意	3
充電式集じん機の使用上のご注意	11
各部の名称と標準付属品	13
別販売品のご紹介	14
・標準付属品ホースを延長する方法	
クロスフィルタ(乾湿両用)の使い方	17
・クロスフィルタ(乾湿両用)の取り付け方	
・ポリ袋の取り付け方	
・ゴミの捨て方	
・クロスフィルタ(乾湿両用)のお手入れ	
ヘッドの使い方	21
マルチフックの使い方	22
・マルチフックの取り付け方	
・マルチフックの使い方	
ホースの取り付け方	23
・ホースの取り付け方	
ストレートパイプとベンディングパイプについて	24
・ストレートパイプとベンディングパイプの取り付け方・取りはずし方	
ノズルについて	25
・薄型切替ノズルの取り付け方	
・薄型切替ノズルの使い方	
吸水時の自動吸込停止機構について	26
・吸水時の自動吸込停止機構について	
バッテリー(別販売品)について	27
スイッチの操作	32
バッテリー残容量表示機能	33
保護機能	34
・本製品およびバッテリーの保護機能	
故障かな?と思ったら	35
運搬・収納	36
・取っ手の使用方法	
・キャスタの固定・解除	
・パイプホルダへの収納方法	
・ホースの収納方法	
別販売品の使い方	38
・紙パックの取り付け方	
・ゴミの捨て方	
・マックバックアダプタの取り付け	
・ハンドルの固定	
・電動工具との接続	
パウダフィルタ(高性能パウダフィルタも同様)をご使用になる場合	42
・別販売品のご紹介	
・パウダフィルタの取り付け方(高性能パウダフィルタも同様)	
・粉じんの捨て方(パウダフィルタ使用時)	
・パウダフィルタのお手入れ	
保守・点検について	47
・本製品のお手入れ	
・ホース・ベンディングパイプのお手入れ	
・保管場所について	
・ご修理の際は	

主要機能

モデル 主要機能	VC001G	VC003G
電動機	DC ブラシレスモータ	
使用可能バッテリー	対応バッテリーの詳細は「別販売品のご紹介」を参照ください。	
電圧	直流 36 V (40 V max) (36 V × 2 (並列))	
最大風量	3.2 m ³ /min (φ 38 mm × 2.5 m ホース装着時)	
最大真空度	23 kPa	
最大吸込仕事率	310 W (φ 38 mm × 2.5 m ホース装着時)	
集じん容量	8 L	15 L
吸水量 *1	6 L	12 L
本製品寸法	長さ 366 mm × 幅 334 mm × 高さ 397 mm	長さ 366 mm × 幅 334 mm × 高さ 475 mm
質量 *2	10.0 kg	10.3 kg

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

*1：吸水量は使用条件により異なる場合があります。

*2：バッテリー BL4050F × 2 個装着時

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 本製品を無理に押しつせず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電工具から離れるとき
 - ・ 本製品の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。

⚠ 警告

2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・バッテリーを周囲温度が 50℃以上になる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠ 警告

15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
- < 異常・故障例 >
- ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「**発電機**」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠ 警告

10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- ・ 感電の恐れがあります。

11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。

- ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

● 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式集じん機として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
2. 保護メガネを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
3. 爆発性および発火性の環境下では使用しないでください。
4. 以下のものは吸わせないでください。

引火性物質

- ・ 油類（灯油・ガソリンなど）
- ・ 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- ・ マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸い殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- ・ トナーなどの可燃物
- ・ 塗料
- ・ 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- ・ 可燃性ガス（スプレーなど）
- ・ じゅうたん洗剤などの泡状のものなど

爆発性物質

- ・ ニトログリセリンなど

発火性物質

- ・ アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの（ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピンなど）

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

除湿剤

大量の粉末（小麦粉、消火器の粉など）

人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質

薬品類

液体や湿ったゴミ（粉じん専用集じん機の場合）

動物などの排泄物、吐しゃ物

5. 排気口をふさがないでください。
 - ・ モーターが焼損し、火災の原因になります。
6. 本製品を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。
 - ・ 感電や故障の原因になります。

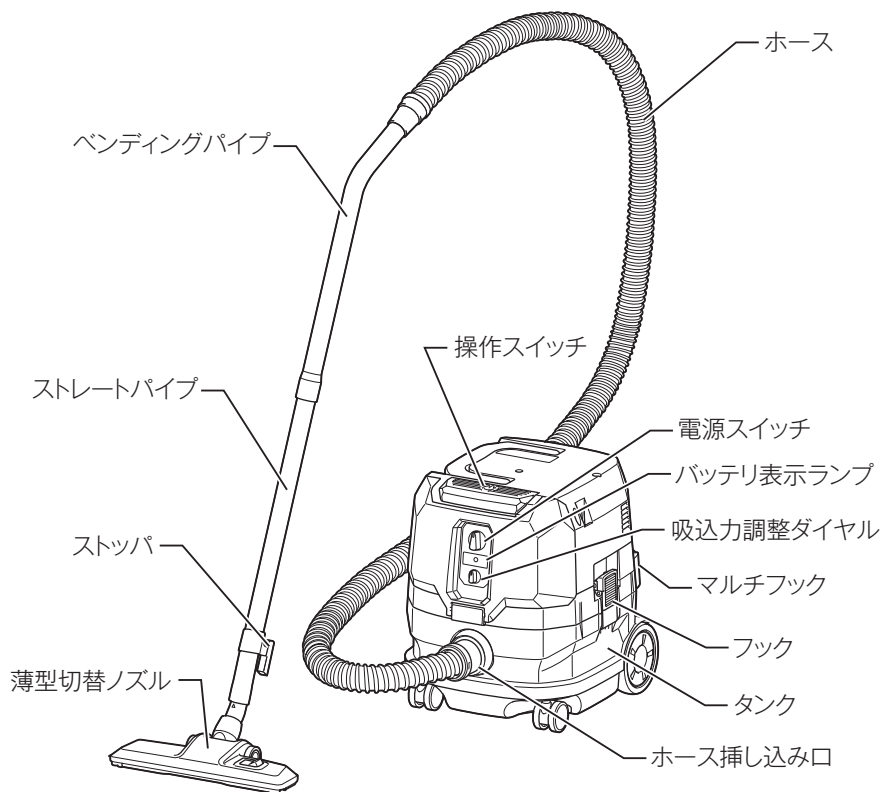
⚠ 警告

7. 転倒などによる本製品の変形、破損防止のため、本製品は静かに移動してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 吸込口をふさいで運転しないでください。
 - ・ 過熱による本製品の変形の原因になります。
2. 火気に近づけないでください。
 - ・ 本製品の変形の原因になります。
3. 本製品上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。
 - ・ 急に本製品が動き出し、転倒するなどけがの原因になります。
4. フィルタは正しくセットして使用してください。フィルタをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
 - ・ モータ焼損など、故障の原因になります。
5. フロートが作動したまま運転しないでください。
例：作業者がいない状態でポンプとして使用する。
 - ・ モータの温度が上昇し、部品の変形やモータ焼損など、故障の原因になります。
6. クロスフィルタで繰り返し大量の吸水をすると吸水量が著しく低下します。繰り返し大量の吸水をする場合は、本製品取り付けのクロスフィルタの代わりに水用フィルタの使用をおすすめします。
7. 湿式ノズルを使用する場合は、本製品取り付けのクロスフィルタの代わりに水用フィルタを必ず使用してください。
 - ・ 本製品の故障の原因になります。

各部の名称と標準付属品



標準付属品

部品名称	部品番号
ホース (φ 38 mm × 2.5 m)	A-33532
ベンディングパイプ	197247-6
ストレートパイプ	192563-1
ストッパ	451350-0 ※
薄型切替ノズル	A-70764
コーナースノズル	410306-2
マルチフック	—
ポリ袋 (650 mm × 650 mm) (本製品取り付け、1 枚)	—
ポリ袋セット品 (650 mm × 650 mm) (10 枚入)	A-45777

※ストッパは、ナベ小ネジ M4 × 20 (部品番号：911138-5) を使用してストレートパイプに固定されています。

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ バッテリーおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー (容量)	BL4020 (2.0 Ah)	A-75823
	BL4025 (2.5 Ah)	A-69923
	◎ BL4040 (4.0 Ah)	A-69939
	◎ BL4040F (4.0 Ah)	A-73841
	◎ BL4050F (5.0 Ah)	A-72372
	◎ BL4080F (8.0 Ah)	A-73368
	◎ BL4080H (8.0 Ah)	A-77263
対応充電器	DC40RA (急速充電器)	JPADC40RA
	DC40RB (2口急速充電器)	JPADC40RB
	DC40WA (2口充電器)	JPADC40WA
	DC40WB (充電器)	JPADC40WB

◎：使用推奨バッテリー

- ・ ADP10 充電器用互換アダプタ
部品番号：A-69967
※充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることで、マキタ 14.4 V/18 V バッテリーの充電が可能になるアダプタです。

部品名称	部品番号
水用フィルタ (水、湿った粉じんなどを吸引するときにご使用ください。)	A-65109
湿式ノズル (湿式用) 注 ・ 湿式ノズルを使用するときは、別販売品の水用フィルタを必ず使用してください。本製品の故障の原因となります。	A-47846
クロスフィルタ	A-65090

別販売品のご紹介

部品名称		部品番号
ホースコンプリート内径φ 38 mm-1.5 m		A-59807
ホースコンプリート内径φ 38 mm-5.0 m		A-33417
ホースコンプリート内径φ 28 mm-1.5 m		A-34235
ホースコンプリート内径φ 28 mm-2.5 m		A-51306
ホースコンプリート内径φ 28 mm-5.0 m		A-34229
右欄の部品 はホースコ ンプリート φ 38 mm-1.5 m、 2.5 m、5.0 m/ φ 28 mm-1.5 m、 2.5 m*1、 5.0 m用	ノズルアッセンブリ	122512-4
	ノズルアッセンブリ A (乾式用)	122334-2
	ジョイント 38	418500-0
	ジョイント 22-38	418165-8
	ラウンドブラシ *2	191657-9
ホースコンプリート φ 32 mm-1.7 m/ ホースコンプリート φ 38 mm-1.5 m		A-68127/ A-67739
右欄の部品 はホースコ ンプリート φ 32 mm-1.7 m/ φ 38 mm-1.5 m用	ロック付きベンディングパイプ	140G26-3
	ロック付き伸縮パイプ (樹脂)	127605-2
	・ ロック付き伸縮パイプ (アルミ) ナベ小ネジ M4 × 18 *3 部品番号 : 911133-5	140G19-0
	ロングサッシノズル	A-70801
	ロック付きサイクロンアタッチメント (スノーホワイト)	A-68856
	ロック付きサイクロンアタッチメント (ブルー)	A-70063
	薄型切替ノズル	A-70758
	フリーノズル	A-60654
アンカーノズル (内径φ 28 mmのホース(フロントカフス22)を使用してください。)		192236-6

- *1 : φ 28 mm-2.5 m は、フロントカフス 38 (部品番号:417766-9) にホースコンプリートのカフスを付け替えると使用できます。
- *2 : コーナーノズル、ラウンドブラシは、ホースコンプリート内径 φ 38 mm を使用した場合、あるいはフロントカフス 38 (部品番号 : 417766-9) を使用した場合のみ取り付け使用できます。
- *3 : ナベ小ネジはストッパをロック付き伸縮パイプ (アルミ) に固定するために使用します。

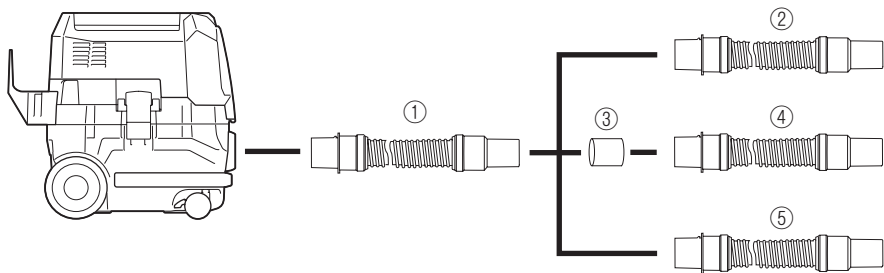
別販売品のご紹介

部品名称	部品番号
フロントカフス 38 (内径: ϕ 38 mm、外径: ϕ 44.2 mm) *4	417766-9
フロントカフス 22 (内径: ϕ 22.4 mm、外径: ϕ 25.0 mm) *4	417765-1
ポリ袋セット品 (650 mm $\times$ 650 mm) (10 枚入)	A-45777
紙パック (5 枚入) *5 乾式ゴミ (粉じん以外) 用	A-48430
紙パック (5 枚入) *5 乾いた粉じん専用	A-49541
アクセサリバッグ (ホースなどの付属品をまとめて入れておくことができます。)	A-46040
マックパックアダプタ (荷物をまとめて運ぶ際、集じん機上部にマックパックを連結するアダプタです。)	A-65115

*4: ϕ 28 mm のホース使用時のみ使用できます。

*5: 紙パック使用時には、紙パックごと捨てることで清潔にゴミ捨てができます。吸水はできません。

標準付属品ホースを延長する方法



① 口元ロック式38 mm ホース(2.5 m)
部品番号: A-33532

④ 口元テーパ式38 mm ホース(2.5 m)
部品番号: A-34096

② 口元ロック式ホース全種類
(ただし、19 mm ホース (5.0 m)
部品番号: A-34394 は不可)

⑤ 口元ロック式 28 mm ホース
1.5 m 部品番号: A-34235
2.5 m 部品番号: A-51306
5.0 m 部品番号: A-34229

③ 38 mm ホースジョイント
部品番号: 192204-9

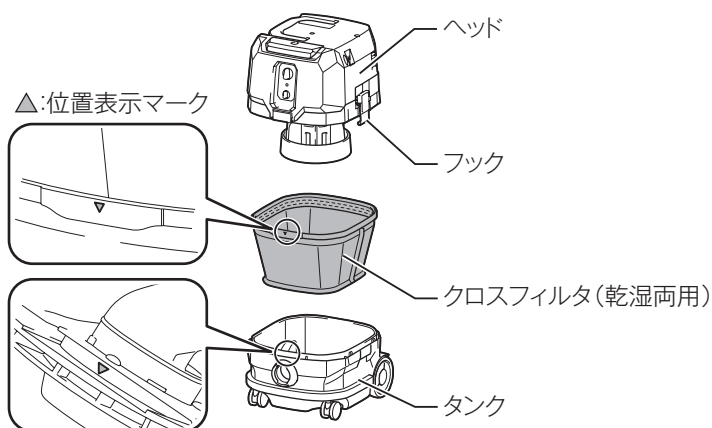
クロスフィルタ(乾湿両用)の使い方(1/4)

⚠ 警告

各種フィルタやポリ袋の取り付け、取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

クロスフィルタ（乾湿両用）の取り付け方



1. フックをはずしてヘッドを上方へ引き上げてタンクから取りはずします。
2. クロスフィルタ（乾湿両用）を位置表示マークに合わせてタンクに取り付けます。
3. ヘッドをタンクに取り付けます。

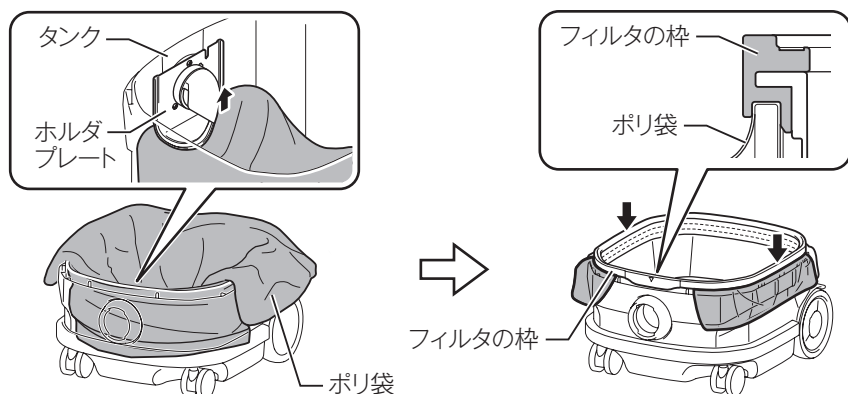
注

- ・ クロスフィルタを必ず取り付けてご使用ください。乾湿両用フィルタですので、吸水時にも取りはずさないでください。ただし、繰り返し大量に吸水する場合はクロスフィルタの代わりに別販売品の水用フィルタの使用をおすすめします。

クロスフィルタ(乾湿両用)の使い方(2/4)

ポリ袋の取り付け方

- 本製品はポリ袋なしでも使用できますが、タンク内のゴミ捨てがポリ袋を使用することにより手も汚れずに簡単に行えます。
1. ポリ袋をタンク内で広げ、その一端をホルダプレートとタンクの間にはめ込み、タンクの口元まで引っ張ります。
 2. ポリ袋をタンクの口元にそって広げます。
 3. フィルタの枠がポリ袋をしっかりはさみ込むようにセットします。



注

- 市販品のポリ袋（45 L）が使用可能です。ただし、厚さ 0.04 mm 以上のものをおすすめします。また、ポリ袋が破れる恐れがありますので粉じんは溜めすぎずに捨ててください。

クロスフィルタ(乾湿両用)の使い方(3/4)

⚠ 警告

ゴミを捨てる際には、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

クロスフィルタ（乾湿両用）やタンクに強い衝撃を与えないでください。

- ・ 変形・破損の原因になります。

ゴミの吸引量にもよりますが、タンク内のゴミは毎日 1 回以上捨ててください。

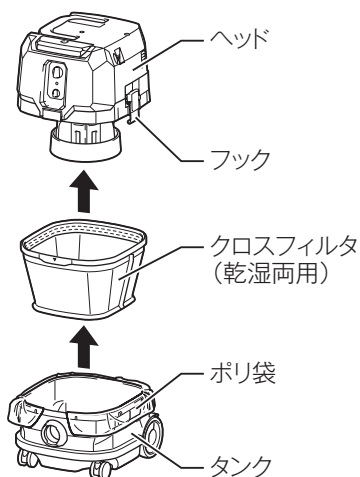
- ・ 吸引量の低下やモータの故障の原因になります。

タンク内のゴミを捨てる時に、ヘッドを上方へ引き上げる際は、フックを持たないでください。

- ・ フックが破損する原因になります。

ゴミの捨て方

1. フックをはずしてヘッドを上方へ引き上げてタンクから取りはずします。
2. クロスフィルタ（乾湿両用）に付着したゴミをポリ袋に落としてタンクからポリ袋を取り出します。



注

- ・ ゴミの溜まったポリ袋を本製品から取り出す際はタンク内の突起部に引っ掛けないようにポリ袋を取り出してください。
- ・ ゴミを溜めすぎると重くなりポリ袋が破れる恐れがありますので、ゴミはこまめに処分してください。

クロスフィルタ(乾湿両用)の使い方(4/4)

⚠ 警告

フィルタのお手入れの際には必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

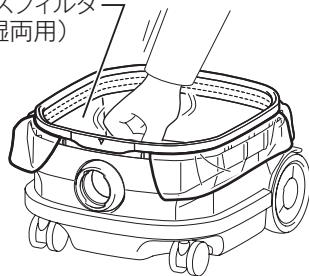
ぬれた手で作業しないでください。

- ・ 感電やけがの原因になります。

クロスフィルタ(乾湿両用)のお手入れ

- ・ フィルタの目づまりは吸引力を著しく低下させますので、フィルタに付着したホコリはこまめに取り除いてください。
- ・ チリ落としの方法は、クロスフィルタ(乾湿両用)内側を手で軽くはたいてください。
- ・ クロスフィルタ(乾湿両用)は、ときどき水でもみ洗いをし、陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。

クロスフィルタ
(乾湿両用)



注

- ・ フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。
- ・ クロスフィルタ(乾湿両用)は、目づまりがひどい場合でも軽くはたく程度にしてください。ブラシで強くこすったりすると寿命が短くなります。

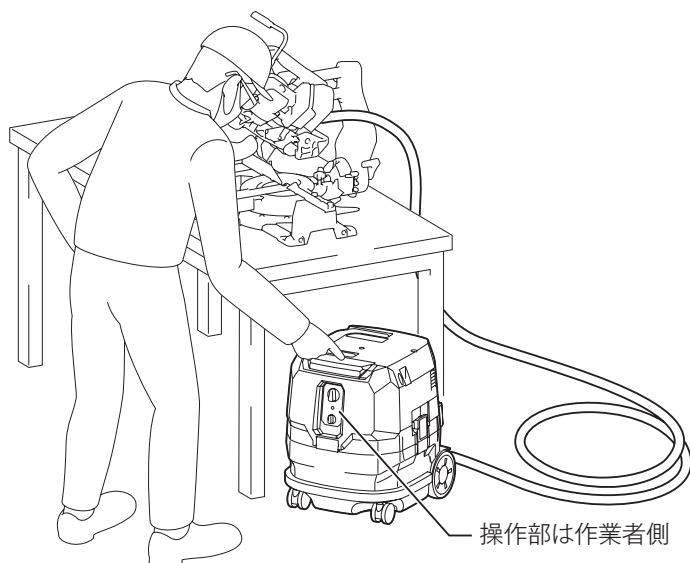
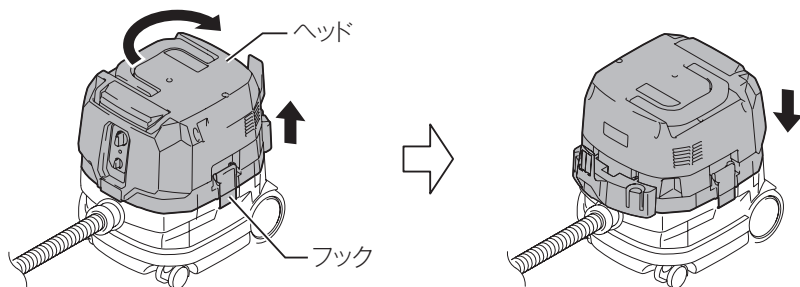
ヘッドの使い方

⚠ 注意

タンクに強い衝撃を与えないでください。

- ・ 変形・破損の原因になります。

- ・ 本製品の使用状況により、ヘッド部を 180 度逆向きに取り付け、後方にホースを出した状態で使用することが可能で、工具接続時の作業性の向上を図ることができます。
1. フックをはずしてヘッドをタンクから取りはずします。
 2. ヘッドを 180 度回転させタンクに取り付け、フックをします。



マルチフックの使い方

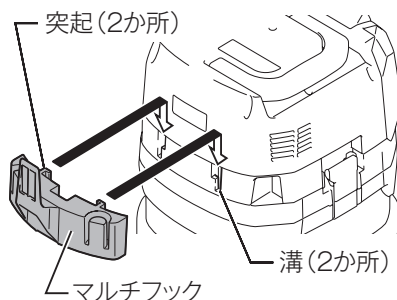
⚠ 警告

付属品の取り付け、取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

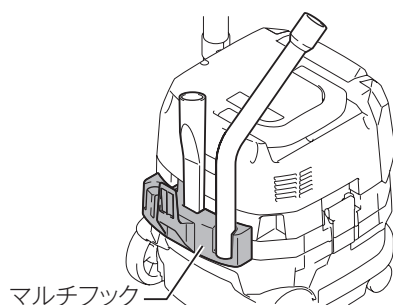
マルチフックの取り付け方

- ・ マルチフックの突起（2 か所）をヘッドの溝（2 か所）にしっかり取り付けます。



マルチフックの使い方

- ・ マルチフックには、パイプなどを収納することができます。



注

- ・ マルチフックには過度の力を加えないでください。マルチフックの破損の原因になります。

ホースの取り付け方

⚠ 警告

付属品の取り付け、取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

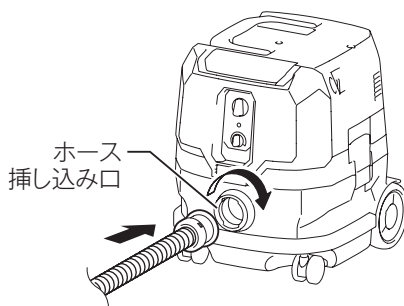
⚠ 注意

ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本製品を移動させたりしないでください。

- ・ ホースの変形や破損などの原因になります。

ホースの取り付け方

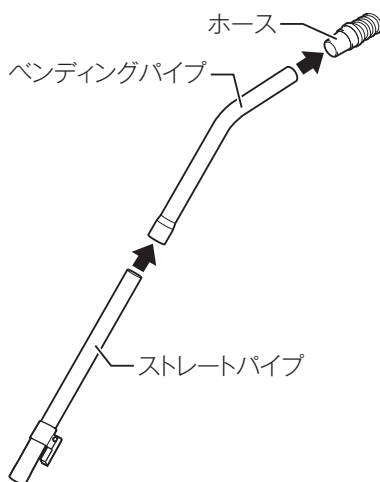
- ・ タンク部のホース挿し込み口にホースを挿入し、右方向に止まるまで回して固定してください。



ストレートパイプとベンディングパイプについて

ストレートパイプとベンディングパイプの取り付け方・取りはずし方 取り付け

1. ホース先端にベンディングパイプを挿入します。
2. ストレートパイプをベンディングパイプに挿入します。

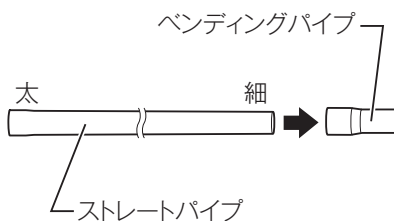


取りはずし

1. ベンディングパイプをホース先端から引き抜きます。
2. ストレートパイプをベンディングパイプから引き抜きます。

注

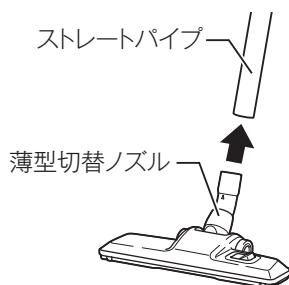
- ・ ストレートパイプは両端の直径が異なります。
直径の細い方をベンディングパイプに挿入します。



ノズルについて

薄型切替ノズルの取り付け方

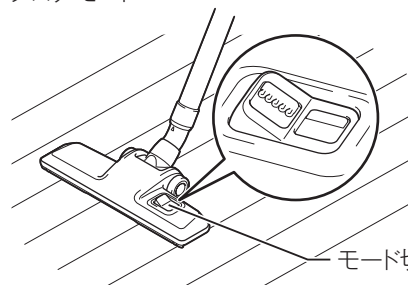
- ・ 薄型切替ノズルをストレートパイプに合わせ挿入します。



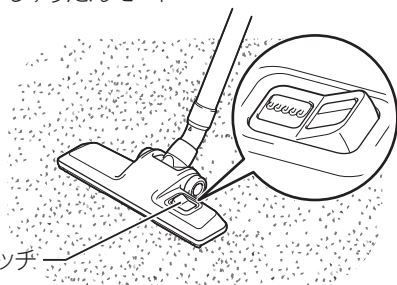
薄型切替ノズルの使い方

- ・ 薄型切替ノズルは、使う場所に合わせて、モードを切り替えてご使用ください。
- ・ 床やたたみなどで使う場合は、フロアモード（左図）でご使用ください。
- ・ じゅうたんなどで使う場合は、じゅうたんモード（右図）でご使用ください。

フロアモード



じゅうたんモード



モード切替スイッチ

吸水時の自動吸込停止機構について

吸水時の自動吸込停止機構について

警告

フロートが働いたままで、長時間運転しないでください。

- ・ 過熱により本製品の変形の原因になります。

泡や石けん水などは吸い込まないでください。

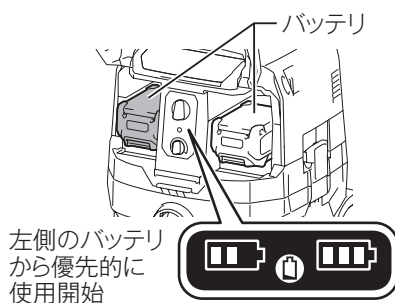
- ・ フロートが働く前に空気の出口から泡が吹き出します。このまま使用すると感電や故障の原因になります。

- ・ 本製品には一定量以上の水を吸い込んだ場合にモータ内に水が侵入するのを防ぐフロート機構が付いています。
- ・ タンク内に水がいっぱいになり、水を吸い込まない場合は速やかにスイッチを切り、水を捨ててください。

バッテリー（別販売品）について（1/5）

バッテリーの使用順序について

- ・ バッテリー 2 個装着時、常に左側に取り付けたバッテリーから優先的に使用を開始します。
- ・ 本製品はバッテリーが 1 個装着時でも使用可能です。



注

- ・ 片方のバッテリーの残量が無くなり、もう片方のバッテリーへの切り替わり時に、作動が一瞬停止します。その後、作動音が大きくなることはありませんが、故障ではありません。

バッテリー（別販売品）について（2/5）

バッテリーの取り付け・取りはずし方

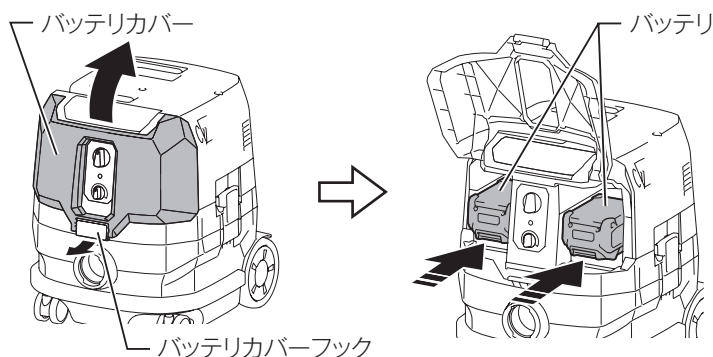
⚠ 警告

バッテリーを取り付けるときは、本製品の溝に合わせ、奥まで挿入してください。バッテリーを差し込んだ際に「カチッ」と音がしていない場合は完全にロックされていません。本製品のバッテリー差し込み口に「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

取り付け方

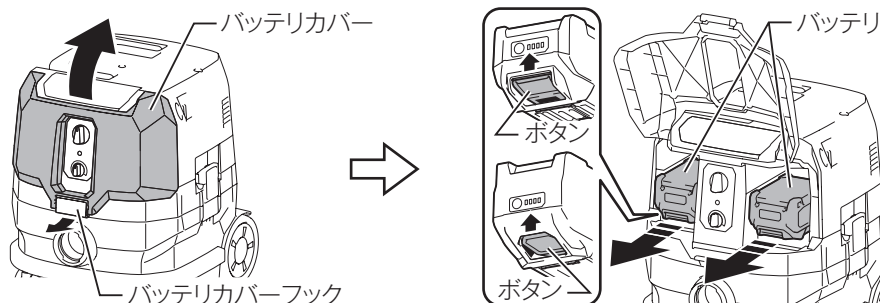
1. バッテリーカバーフックを引きながら、バッテリーカバーを開きます。
2. バッテリーを本製品の溝に合わせ、奥まで挿入してください。本製品のバッテリー差し込み口に「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。
3. バッテリーカバーを閉じます。



バッテリー（別販売品）について（3/5）

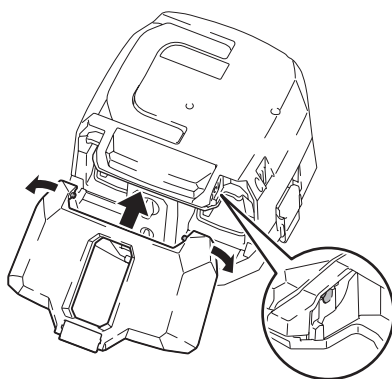
取りはずし方

1. バッテリーカバーフックを引きながら、バッテリーカバーを開きます。
2. バッテリー正面のボタンを押しながら、スライドさせ取りはずします。



注

- バッテリーカバーの開閉時に、指をはさまないようにしてください。
- 本製品には充電機能はありません。バッテリーの充電には、充電器を使用してください。
- バッテリーカバーが全開状態から更に開こうとすると、本製品からバッテリーカバーがはずれます。
- バッテリーカバーを取り付けるには、図のようにヘッドにバッテリーカバーを広げながら取り付けてください。



バッテリー（別販売品）について（4/5）

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やホコリから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

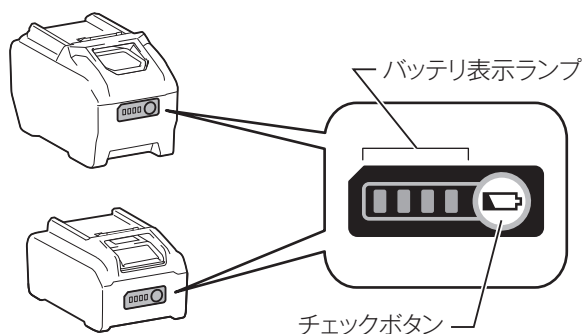


リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

バッテリー（別販売品）について（5/5）

バッテリー残容量表示機能

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■ : 点灯 ▨ : 点滅 □ : 消灯	
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
▨ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ □ □ ▨ ▨ ↓ ↑	バッテリーの異常です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端の表示灯が点滅します。

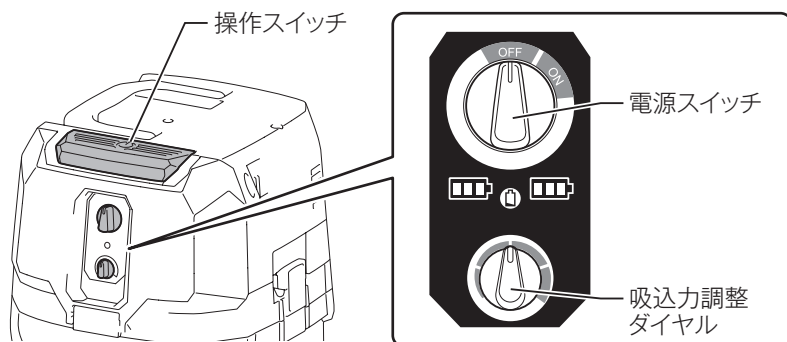
スイッチの操作

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ 本製品には再起動防止機能を備えているので、スイッチが入った状態でバッテリーを差し込んでも作動しません。
その際は、一度スイッチを切り、再度スイッチを入れると作動します。

1. 電源スイッチを「ON」の位置にして電源を入れます。
(「OFF」の位置にすると電源が切れます)。
2. 操作スイッチを押すと運転し、再び押すと停止します。
3. 吸込力調整ダイヤルを回して吸込力の調整をします。吸込力はダイヤルを右に回すと強くなり、左に回すと弱くなります。

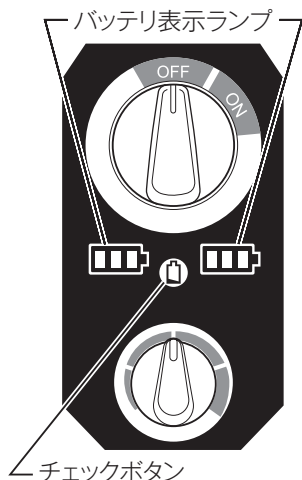


注

- ・ 吸込力調整ダイヤルは、目盛りの範囲内で回してください。範囲を超えて無理に回すと故障の原因になります。

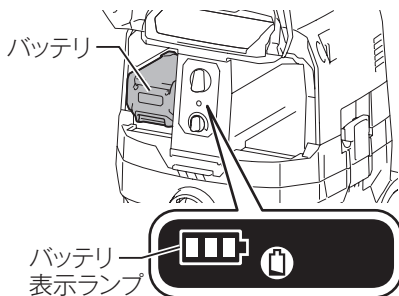
バッテリー残容量表示機能

- ・ 電源スイッチの位置にかかわらず、チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプがそれぞれのバッテリー残容量を数秒間表示します。
- ・ 本製品の作動開始時とバッテリーの切り替わり時にも、バッテリー表示ランプがバッテリー残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■:点灯 □:消灯 ▨:点滅	
	50 % - 100 %
	20 % - 50 %
	0 % - 20 %
	充電してください

- ・ バッテリー残量表示はバッテリーが装着された側のみ表示します。



保護機能

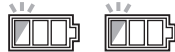
本製品およびバッテリーの保護機能

- 本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能

- 本製品およびバッテリーが高温になるとモータが自動停止します。

- ・ 使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。

バッテリー表示ランプ	□:消灯 ■:点滅
	バッテリーの異常発熱

※該当するバッテリーのみ点滅

- ・ バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
- ・ ゴミ詰まりや水を吸いすぎた場合も、異常発熱の原因になるので、ゴミや水を取り除いてください。

バッテリー表示ランプ	□:消灯 ■:点滅 ■:点灯
	本製品の異常発熱

- バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。

- ・ 本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。

バッテリー表示ランプ	□:消灯 ■:点滅
	本製品の自動停止

※該当するバッテリーのみ点滅

- 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。

- ・ いったんスイッチを切り本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

- 上記以外の症状で停止した場合、35 ページの解消方法を参照して、点検してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

ゴミや水を取り除いてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 34 ページ参照。

- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

運搬・収納 (1/2)

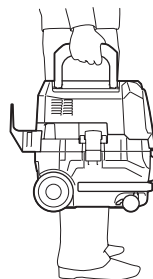
取っ手の使用方法

⚠ 注意

本製品を持ち上げるときは、取っ手をしっかり持ってください。

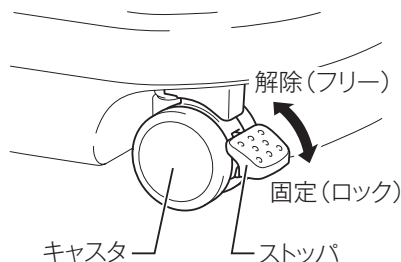
- ・ 取っ手以外を持つと落としてけがをする原因になります。

- ・ 運搬・移動する場合は、ヘッド部の取っ手を持ってください。取っ手は使用しない場合、ヘッド部に収納できます。



キャスタの固定・解除

- ・ キャスタ（ストッパ付き）のストッパを下げると車輪の回転が固定されます。車輪の固定を解除する場合は、ストッパを上げます。
(VC001G: 前輪、VC003G: 後輪)
- ・ ストッパは本製品を収納、作業の中断、作業中など本製品の動きを止めておきたい場合に便利です。
- ・ ストッパの操作は手で行ってください。

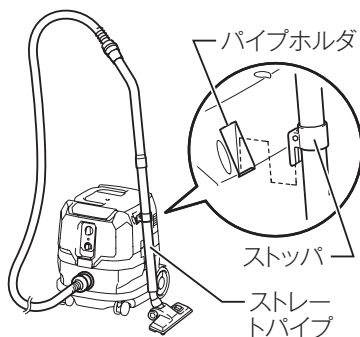


注

- ・ 本製品を移動する場合は、キャスタの固定が解除されていることを確認してください。キャスタが固定されたままでの移動は、キャスタの破損の原因になります。

パイプホルダへの収納方法

- ・ ストレートパイプのストッパをパイプホルダに挿し込んで固定できます。お掃除の中断時などに便利です。

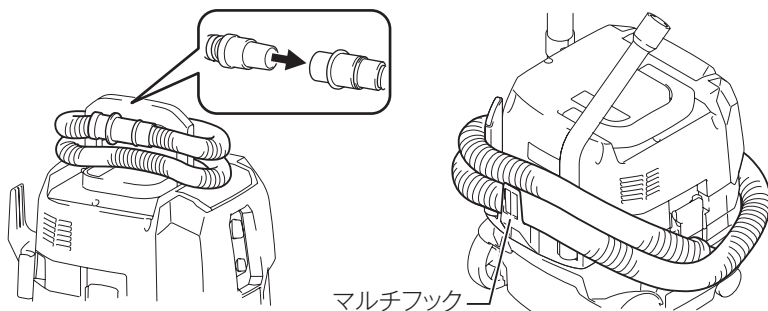


注

- ・ パイプホルダに取り付けた状態の付属品に過度の力を加えないようにしてください。パイプホルダの破損の原因になります。

ホースの収納方法

- ・ ホースの両端を接続したり、マルチフックを利用した収納ができます。



別販売品の使い方 (1/4)

紙パックの取り付け方

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

紙パックを使用するときは、付属品のクロスフィルタ、フロート、フロートケージを併用してください。

別販売品のパウダフィルタ、ダンパ、プレフィルタを取り付けて使用する場合も紙パックは使用できますが、パウダフィルタ、ダンパ、プレフィルタとの併用が必要です (42 ページ参照)。

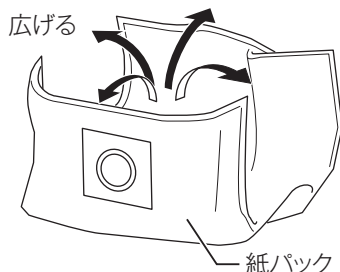
- ・ 紙パックが破損したとき、モータにゴミが入り、異音や異常発熱による火災の原因になります。

⚠ 注意

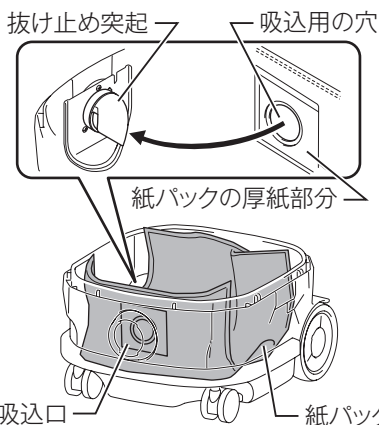
紙パック使用時は、水などの液体、湿ったゴミを吸わせないでください。

- ・ 紙パックが破れる原因になります。

1. フックをはずしてヘッドを上方へ引き上げてタンクから取りはずします。
2. 紙パックを広げます。



3. 図の矢印方向へ、紙パックの吸込用の穴を本製品の吸込口にある抜け止め突起に合わせます。
紙パックの厚紙部分が吸込口にある抜け止め突起の奥までしっかり挿し込みます。
4. ヘッドをタンクに取り付けます。



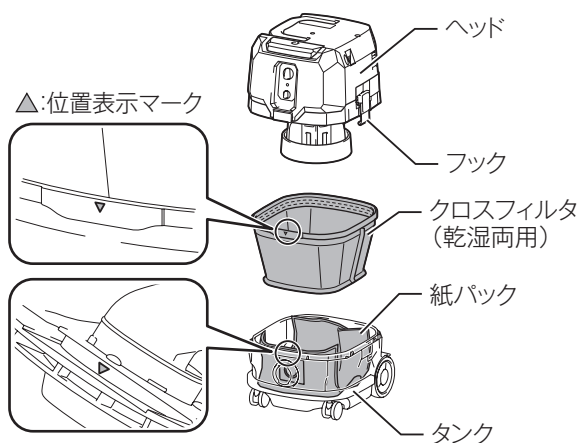
注

- ・ 紙パックが確実に固定されていることを確認してください。

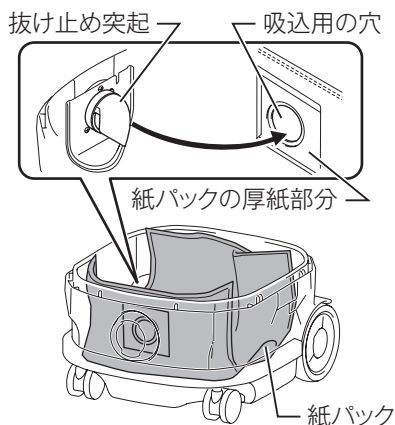
別販売品の使い方 (2/4)

ゴミの捨て方

1. フックをはずしてヘッドを上方へ引き上げてタンクから取りはずします。



2. 紙パックの厚紙部分を矢印方向に引き、抜け止め突起から取りはずします。



注

- ・ 紙パックは使い捨てです。ゴミが溜まりましたら紙パックごと捨ててください。再度使用はしないでください。目づまりを起こして吸引力を落とします。
- ・ 紙パックを取りはずすときは、ゴミが舞い上がらないよう静かに作業してください。ゴミが目に入り、目を傷める恐れがあります。

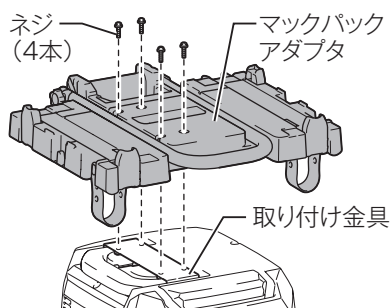
別販売品の使い方 (3/4)

マックパックアダプタの取り付け

1. 集じん機のハンドルを立てた状態で、取り付け金具を図の向きに合わせて挿し込み、ハンドルを倒します。



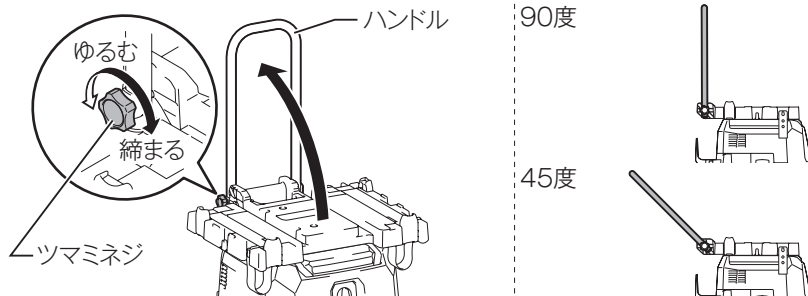
2. マックパックアダプタを付属のネジ (4本) で取り付け金具に固定します。



別販売品の使い方 (4/4)

ハンドルの固定

- マックパックアダプタのハンドルを立て、ツマミネジを締め付けて、しっかりと固定します。
角度は 90 度と 45 度から選択できます。

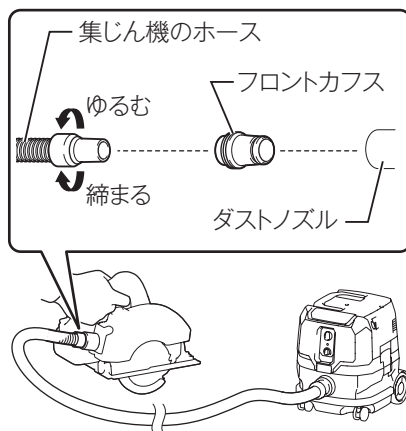


注

- マックパックアダプタのハンドルを持って、本製品を持ち上げないでください。破損の原因になります。
- マックパックアダプタの上に乗らないでください。転倒するなど、けがの原因になります。
- マックパックアダプタのハンドルを持って移動するとき、傾けないでください。荷崩れや転倒の原因になります。
- 集じん機のホースを引っ張り移動しないでください。

電動工具との接続

- 電動工具のダストノズルと集じん機のホースを、フロントカフスで接続してください。
- 電動工具のダストノズルの大きさに合わせて、フロントカフスを取り替えてご使用ください（詳細は総合カタログを参照してください）。



⚠ 注意

- ・ 別販売品のパウダフィルタ使用時は必ずプレフィルタとダンパを使用してください。パウダフィルタ単品では取り付けすることはできません。
- ・ 湿式でご使用になる場合は、パウダフィルタ、ダンパ、プレフィルタをはずしてフロート、フロートケイジを装着し、クロスフィルタまたは別販売品の水用フィルタを使用してください。
- ・ フロートケイジとフロートの取り付けは、ご自分でなさらないで必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

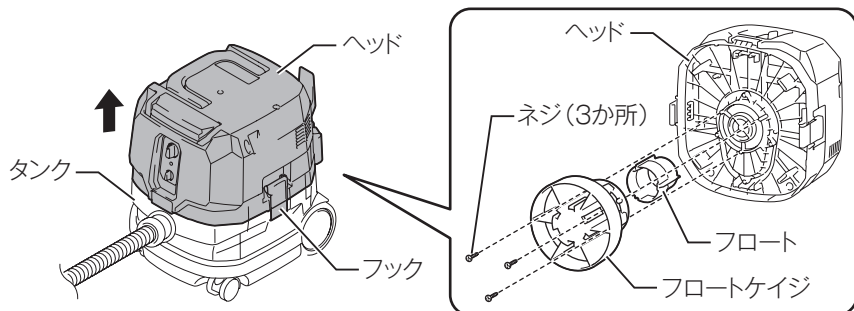
別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

部品名称	部品番号
パウダフィルタ (粉じん用。コンクリート、石材の粉じんなど、細かいものを吸引するときにご使用ください。プレフィルタとダンパを使用してください。吸水はできません。)	A-65062
高性能パウダフィルタ (粉じん用高性能フィルタ。プレフィルタとダンパを使用してください。吸水はできません。)	A-68149
プレフィルタ (粉じん用。パウダフィルタ、ダンパとセットでご使用ください。)	A-65084
ダンパ (粉じん用。パウダフィルタ、プレフィルタとセットでご使用ください。)	A-65078

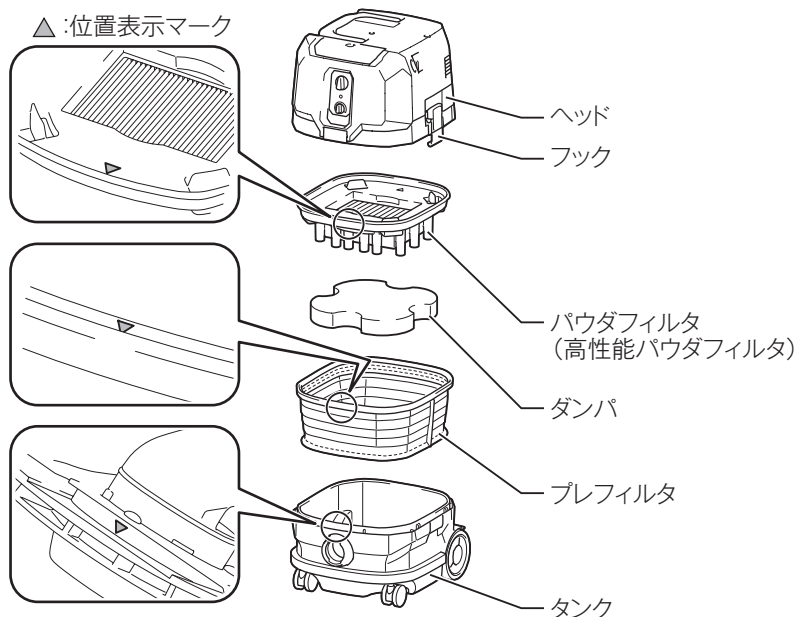
パウダフィルタの取り付け方(高性能パウダフィルタも同様)

1. フックをはずしてヘッドを上方へ引き上げてタンクから取りはずします。
ヘッド部からプラスドライバーでフロートケージ固定用ネジ(3か所)を
はずし、フロートケージ、フロートを取りはずしてください。



2. タンクにプレフィルタを入れます。
3. プレフィルタの中にダンパを入れ、上からパウダフィルタを載せます。
4. パウダフィルタ、プレフィルタは位置表示マークを合わせてタンクに取り付けてください。

5. ヘッドをタンクに取り付けます。
 ※ポリ袋の取り付け方は 18 ページを参照してください。



注

- 別販売品のパウダフィルタ使用時は必ずプレフィルタとダンパを使用してください。パウダフィルタ単品では取り付けることはできません。
- 湿式でご使用になる場合は、パウダフィルタ、ダンパ、プレフィルタをはずしてフロート、フロートケージを装着し、クロスフィルタまたは別販売品の水用フィルタを使用してください。
- フロートケージとフロートの取り付けは、ご自分でなさらないで必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

粉じんの捨て方（パウダフィルタ使用時）

⚠ 警告

粉じんを捨てる際には、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

パウダフィルタやタンクに強い衝撃を与えないでください。

- ・ 変形・破損の原因になります。

粉じんの吸引量にもよりますが、タンク内の粉じんは毎日 1 回以上捨ててください。

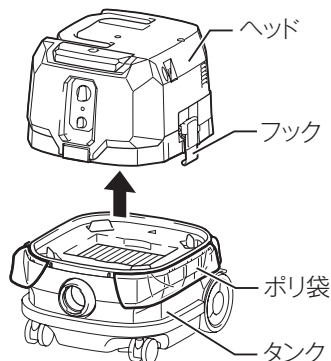
- ・ 吸引量の低下やモータの故障の原因になります。

タンク内の粉じんを捨てるときに、ヘッドを上方へ引き上げる際は、フックを持たないでください。

- ・ フックが破損する原因になります。

1. フックをはずしてヘッドを上方へ引き上げてタンクから取りはずします。
2. パウダフィルタ、ダンパ、プレフィルタに付着した粉じんをポリ袋に落としてタンクからポリ袋を取り出してください。

※ポリ袋の取り付け方は 18 ページを参照してください。

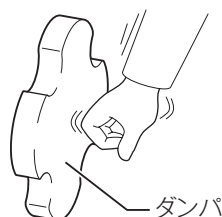
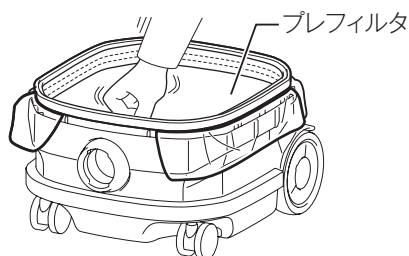


注

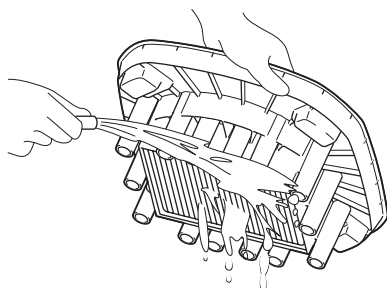
- ・ 粉じんの溜まったポリ袋を本製品から取り出す際はタンク内の突起部に引っ掛けないようにポリ袋を取り出してください。
- ・ ゴミを溜めすぎると重くなりポリ袋が破れる恐れがありますので、ゴミはこまめに処分してください。

パウダフィルタのお手入れ

- ・ パウダフィルタ、プレフィルタ、ダンパの目づまりは吸引力を著しく低下させますので、パウダフィルタなどに付着した粉じんはこまめに取り除いてください。
- ・ チリ落としの方法はプレフィルタ、ダンパを手で軽くはたいてください。



- ・ パウダフィルタは水洗いができますので定期的（1～2ヶ月ごと）に粉じんを水で洗い流してください。水洗い後はパウダフィルタを陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



注

- ・ ブラシ・ヘラなど硬いものでパウダフィルタ、プレフィルタ、ダンパをこすってキズを付けないようにしてください。
- ・ フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。

保守・点検について

⚠ 警告

お手入れの際には、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

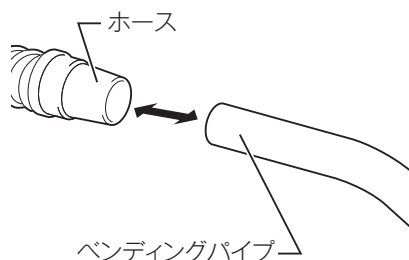
- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

ホース・ベンディングパイプのお手入れ

- ・ ホース先端からベンディングパイプを引き抜いてください。
- ・ ホースとベンディングパイプの内側に付いたゴミを取り除いてください。
- ・ ホース先端にベンディングパイプを挿して固定してください。



注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

保管場所について

- ・ 保管する際は、本製品からバッテリーを取りはずして保管してください。次の場所には保管しないでください。
 - × 子供の手が届いたり、持ち出せる所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 軒先など雨がかかったり、湿気のある所

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881G61E9
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）